

2017年度しょうえい幼稚園自己評価表 学校法人沼津頌栄学園 しょうえい幼稚園

評価者 園長 石川 望・教職員 20名

1 経営理念

経営理念	キリスト教保育 創造（自由）保育(統合保育)	あそび・あそぶ・あそぼうから創造（自由）保育へ —みんなの違う輝きが一つとなる瞬間を—
------	---------------------------	------------------------------------------------

2 経営目標・評価項目・評価

☆評価基準 よくできている ◎ できている ○ あまりできていない △ 全くできていない ×

	経営目標	評価項目	評価				達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
			◎	○	△	×		
つながる基礎	1、園生活の基本を身につける。 2、目に見えない大切なものを生活を通して感じる。 3、絵本などを通してファンタジーの世界を広げる。	教師は礼拝・お祈りを楽しい中にも静かに行き、子どもたちの心を落ち着かせる。	10	7	3		・初めのころよりはだいぶ落ち着いた環境で礼拝が出来るようになった。全員がぱっと気持ちを向けることは難しい。 ・関係がしっかりできていないのか、笑ったりする姿が見られる。 ・導入に工夫が必要。司会者や話をする人への集中力が足りない。 ・なぜ心を静かにするのかをみんなで考え、落ち着いてできるよう心掛けた。 ・ホールでの礼拝は落ち着かない時がある。	・落ち着くまで待ってから対応していったら良いと思う。
		教師は、子どもたちが自由遊び後、スムーズに片づけられるよう促す。	9	10	1		・特に外での自由遊びの時に片付けの時間になると滑り台に逃げてしまうことが多い。 ・片付けをするが、次に楽しいことが待っていることを伝え、片付けを促している。 ・教師と一緒に楽しんで遊び、満足すれば片付けもできるはず。	・片付けが楽しくなるような工夫を増やしていった方が良いと思う。
		教師は、子どもたちが園生活のきまりが身に付くように援助すると共に、遊びを通して信頼関係を築く。	9	10			・遊ぶときは思いっきり遊び、やる時はやるとメリハリをつけて過ごしている。 ・園生活にも慣れ、スムーズに行えることが増えた。 ・おとなしい子、控えめな子は教師の方からどんどんスキンシップをとるようにする。	・よくできていると思うので、そのまま継続して行ってほしい。
		教師は子どもたちが保護者と離れる寂しさや友だちとけんかした時の悲しさ、その他様々な気持ちや思いを受け止め、共感する。	11	9			・スキンシップをとったり、気持ちを代弁し寄り添うようにした。 ・できていたと思う。 ・悲しさを引きずらないよう、他に楽しいこと・その子が好きなことをしている。 ・ゆっくり話を聞き、気持ちを受け止めている。	・よくできていると思うので、そのまま継続して行ってほしい。
		教師はできるだけ毎日絵本の読み聞かせをする。	13	5	2		・絵本を読めなかったり、日記に記録していない教師もいる。 ・昼食前、おやつの後毎日1冊は必ず読む。 ・毎日なるべく読めるようにする。絵本貸し出しの時にみんなのリクエストを聞いて読んだ。 ・季節や興味のあることに応じて絵本を選び、子どもたちも楽しみにしている。	・絵本を読めない日には、絵本を題材にした短いお話をするなどの工夫があると良いと思う。
		教師は、絵本の貸し出しや絵本の読み聞かせを通し、子どもたちがたくさんの絵本と出会うよう努める。	12	7	1		・繰り返しが多いものやお気に入りの本を読むことが多かったので、幅を広げたい。 ・お部屋で読んだ絵本を喜んで借りてくれるようになった。 ・子どもに読んでほしい絵本のリクエストを聞いたり、好きな絵本を選んだりしている。	・これだけは読む（推薦図書）と月初めに何冊か決めておくと良いと思う。
		教師は、子どもたちがお集まりや活動に積極的に参加できるよう促す。	10	9	1		・学年の教師間ではよく話し合え学び合えた。柳詰先生にも1学期から部屋に入ってご指導いただけると心強い。 ・人見知りのお友達が多いため、できるだけ声掛けをして楽しく参加できるようにした。 ・教師が楽しんで参加するようにしている。	・よくできていると思うので、そのまま継続して行ってほしい。
		教師は、子どもたちが遊びや活動を通し、たくさんの友だちとふれあい、仲を深めるよう支援する。	10	10			・教師が間に入って沢山のお友達を誘って、できるだけ多くのお友達と遊ぶようにした。 ・もっと0～2歳児とも遊べるようにしたい。 ・3学期は特に、他学年のお友達を招いて遊びや活動を共有し、交流することが出来た。 ・いろんな子と遊べるように声をかけたり、給食も同じグループでかたまらないような工夫が出来ている。	・よくできていると思うので、そのまま継続して行ってほしい。
ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	教師は、子どもたちが動物の誕生・成長・死を通して命の大切さを感じるよう見守る。	1	13	5		・わんぱくに行く機会が少ないのもあり、積極的に動物への声掛けはしていなかった。 ・夏の間や土日にお世話できず、ザリガニが死んでしまった。みんなで考える時間を持てればよかった。 ・動物はもちろん、小さな虫にも命があることをその都度伝えている。 ・エサやりを積極的にやる姿がみられる。 ・あひるの赤ちゃんが園に来たことで、動物の成長を間近で見ることができ、良かった。	・生き物が死んでしまった時に、子どもたちが何か感じられるような声掛けがあると良いと思う。

経営目標		評価項目	◎	○	△	×	達成状況・改善策等	学校評価委員の意見
ゆたかな心	1、命の大切さ・平和への思いを育てる。 2、意見を表明したり、相手の心を思いやる気持ちを育てる。	教師は、絵本などを通して子どもたちが平和への思いを強められるよう努める。		5	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ年齢が小さいのでわからないのでは、と工夫しなかった。</li> <li>・お祈りの際に災害のことなどをお祈りしている。絵本などを通して子どもたちに伝えていきたい。</li> <li>・自分にとっても難しく、なかなか達成しづらい。</li> <li>・平和に関する絵本を読んだり、実際に戦争を経験した方に話を聞いたりしてみたい。</li> <li>・日本だけでなく、世界のお友達のためにも祈りたい。</li> </ul>	・あまり難しく考えず、身近な平和を感じて学んでいければ良いと思う。(幼稚園に来れること、おいしい給食が食べられること)
		教師はそれぞれのこどもの発達に合わせ適切な対応・指導ができるよう学び合う。	6	13	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ズボン、靴下、おむつの着脱や食事については、個々で違うので、その子に合わせて行っていた。</li> <li>・個々への対応、指導案は考えたが、学びあう機会がない。</li> <li>・柳詰先生に困ったことやわからないことなどすぐに聞くことが出来てよい。</li> <li>・教師会で報告し、対応・指導の仕方を共有したり、柳詰先生に来ていただき、アドバイスをもらっている。</li> </ul>	・よくできていると思うので、そのまま継続して行ってほしい。	
		教師は、子どもたちが自分の意見や考えを出すことができるよう受け止め、同時にお友だちの意見を聞いたり思いを感じることができるよう促す。	10	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士で自分の気持ちを言い合えるようにお話していった。</li> <li>・おしゃべりができなくても、表情をみながらやりたいことや興味を持っているもの、やってみようと思えることを製作などで行った。</li> <li>・自分から発言できる子以外にも目を向けて、話しやすい環境づくりに努めている。</li> <li>・言葉にできない思いも受け止めて伝えていきたい。</li> <li>・なかなか出せない子が心の中で言っていることがあると思う。</li> </ul>	・よくできていると思うので、そのまま継続して行ってほしい。	
信頼される幼稚園	1、保護者との意見交換を積極的に行う。 2、情報発信を充実させる。 3、子ども・保護者・教師共に育ちあう関係を作る。	園は、しょうえいだより・しょうえいカレンダーを月1回発行する。	17	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しょうえいだよりが楽しみという話を聞く。</li> <li>・できている。子どもたちの様子が伝わるよう、日々の写真をたくさん撮るようにしている。</li> </ul>	・保護者に伝えたいポイントを決め、無理せず続けて行ってほしい。	
		園は学期に1回保育参観を行う。(3.4.5才)送迎時、保護者とのコミュニケーションをとる。	11	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳だけでなく、送迎時様子を聞いたり相談に乗ったり様子を伝えるよう心掛けた。</li> <li>・健康に関わること、成長等話すようにしている。</li> <li>・一緒に何かをすることが多いので、来られない方への配慮が必要。</li> </ul>	・よくできていると思うので、そのまま継続して行ってほしい。	
		保護者への講演会を年1回行う。	7	6	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は行ったが、今年行っていない。</li> <li>・今年出来なかったが、年長が給食を保護者と食べることが出来た。</li> </ul>	・保護者の方が手の空く時間(夕方や休日)や、参観日に組み合わせてみたりしても良いと思う。
		園はホームページ・ツイッターで広く幼稚園を公開する。	9	6	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の遊びをもっと伝えられるようにしたい。</li> <li>・顔が映らないようにするのが、保育中むずかしい。</li> <li>・保育中に写真を撮っている時間がない。</li> </ul>	・小さい子どもたちを見ている時は忙しいと思うので、写真を撮る先生を設けてみても良いと思う。
		保護者と教師とのコミュニケーションを深める。	6	11	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなことでも伝えていく。</li> <li>・送迎の方とバスの方ではやはり差がでてしまう。</li> <li>・バスの子の保護者にはなかなかコミュニケーションが取りづらい。</li> </ul>	・保護者に分かりやすいように伝えることを心掛けてほしい。(保護者アンケートでは保護者の方は満足しているように思える。)
		園の行事を無理なく円滑に行う。	6	13	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちつきの際にインフルエンザが出てるときは、いつも通りに子どもたちが握らず、他のやり方を考えた方が良いと思う。</li> </ul>	・季節を変えるか、冬に行くならやり方を考え直してみた方が良いと思う。(マスクや手袋をつけてみる)
		支援センターともだちの開放、こひつじ文庫(はらぺこあおむしの会)、ショートステイなどを行い、園を広く知ってもらおう。	8	9	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、ショートステイをあまり受け入れることができなかったように思う。</li> <li>・ともだち、こひつじ文庫の宣伝をもっとする。</li> <li>・ショートステイは人員に余裕がなく、できなかった。(0~2才)</li> </ul>	・もっと多く宣伝ができると良いと思う。
		日常の教師間の連絡体制	5	8	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任教師への連絡、預かりとの連携をしっかりする。</li> <li>・教師会に0~2歳児の教師も参加出来たら良い。議事録だけでは伝わってこないこともあった。</li> <li>・1日の出来事を伝えあっているため、他のクラスの様子もよくわかり、参考になる。</li> </ul>	・0~2歳児はお昼寝の時間に教師会をすると良いと思う。